

「令和7年度北いわて廃校等遊休資産活用セミナー運営業務」企画提案募集に係る質問への回答

岩手県ふるさと振興部 県北・沿岸振興室

	資料名称	該当箇所	質問	回答
1	業務仕様書	2 ページ 2 業務の内容	本事業の成果目標として、受講生の人数や到達目標など具体的な数値目標は設定されておりますでしょうか。	成果目標は設定していません。ただし、セミナー各回の参加人数は15名程度を想定しています。
2	業務仕様書	2 ページ 2 業務の内容 ア 対象者	対象者として「市町村職員」と記載されていますが、地域のNPO法人等、公共施設活用に関心のある地域団体を参加対象に含めても差し支えないでしょうか。	原則として、本セミナーは市町村職員を対象として実施します。市町村職員以外の参加は、個別に判断します。
3	業務仕様書	3 ページ 2 業務の内容 ウ カリキュラム テーマ2 廃校等利活用のプロセス＋ワークショップ	(1) ワークショップは市町村ごとに実施するのではなく、複数市町村合同で行うことを想定しているのでしょうか。 (2) 対象人数の規模に応じて、グループワークや全体討議など方式を調整すべきと考えますが、運営側に一任いただけるものか、それとも指定の方法をお考えでしょうか。 (3) ワークショップの成果として、県としてはどのようなアウトプット（例：利活用アイデアの抽出、計画素案の提示、課題整理 等）を望まれているのでしょうか。	(1)～(3) ワークショップの成果は、市町村間の情報共有及び課題の整理を主なアウトプットとして想定しています。そのため、複数市町村が合同で行うことを想定しています。具体的な実施方法は、本提案内容を踏まえ受託者と県との間で協議し決定します。
4	業務仕様書	3 ページ 2 業務の内容 ウ カリキュラム テーマ3 現地見学	現地見学に係る交通手段（バス等）の手配や交通費は、本事業の予算内で運営することを想定すべきでしょうか。	現地見学は現地集合現地解散とし、主催者側で交通手段を手配することは想定していません。
5	業務仕様書	3 ページ 2 業務の内容 ウ カリキュラム テーマ4 公共施設マネジメント	「総務省『地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業』に登録されているアドバイザー等を想定する」とありますが、登録アドバイザーでなくとも、相当する知識・経験を有する専門家であれば問題ないと理解してよろしいでしょうか。	登録アドバイザーでなくとも、相当する知識・経験を有する専門家であれば問題ありません。
6	業務仕様書	3 ページ 2 業務の内容 エ その他の仕様	仕様書には「最低でも3回の開催」とありますが、この開催回数には、オンライン形式で実施するセミナーも含めてカウントすることが可能でしょうか。それとも、すべて対面での実施を前提としているのでしょうか。	オンライン形式で実施するセミナーも含めて開催回数にカウントすることは可能です。